

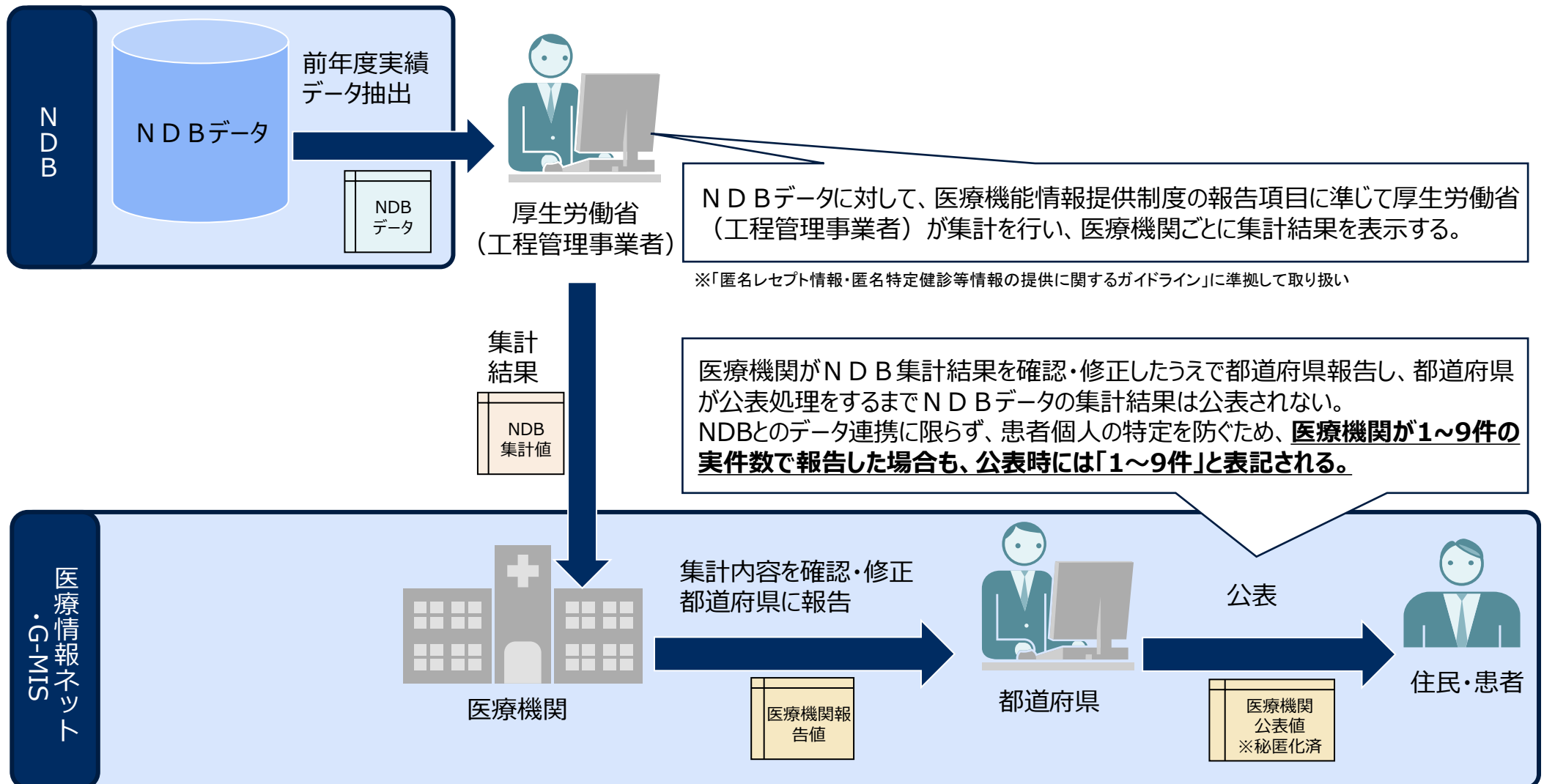
「対応可能な疾患・治療内容」の件数に プレプリントする値に関する説明資料

第1.0版 2023年12月25日

NDBデータを用いたプレプリントの概要

- G-MISでは、医療機関の報告負担の軽減を目的に、医療機能情報提供制度の一部の診療実績に関する項目（次頁参照）について、**NDBデータを用いて事前に集計、医療機関へ参考値として提示（プレプリント）**します。
- **NDBプレプリントはオンラインで報告するときのみ実施されます。**

<NDBデータを用いたプレプリント概要>



NDBデータを用いたプレプリントの対象項目

- NDBプレプリントの対象項目は、医療機能情報提供制度の省令・告示の別表2「対応可能な疾患・治療内容」のうち、「件数」の報告を行う項目から抽出しています。
- ただし、「正常分娩」（医療保険外で行われる診療）等、一部、NDBプレプリントの対象外の項目がございます。今年度の具体的な対象項目は、別添「プレプリント対象項目」をご覧ください。

医療機能情報提供制度 省令・告示で設定されている公表項目

① 本編資料【医療機関の医療機能に関する情報】

1.管理・運営・サービス・アメニティに関する事項	
(1) 基本情報	
1	病院の名称
2	病院の開設者
3	病院の管理者
4	病院の所在地
5	病院の案内用の電話番号及びFAX番号

② 別表1（本編資料の補足）

	厚生労働省令で定めるもの	厚生労働大臣が定めるもの
1)	時間外（休日夜間）対応	1 終日の対応
		2 病院又は診療所における緊急2時の連絡先への連絡による対応
		3 連携する病院又は診療所への電話の転送
2)	障害者に対する配慮	1 手話による対応
		2 施設内の情報の表示

③ 別表2【対応可能な疾患・治療内容】

領域	対応可能な措置・疾患	件数
1) 皮膚・形成外科領域	1 皮膚・形成外科領域の一次診療	
	2 真菌検査(顕微鏡検査)	
	3 皮膚生検	
	4 凍結療法	
	5 光線療法(紫外線・赤外線・PUVA)	
	6 中等症の熱傷の入院治療	
	7 顔面外傷の治療	
	8 皮膚悪性腫瘍手術	○

別表2【対応可能な疾患・治療内容】

領域	対応可能な措置・疾患	件数
1) 皮膚・形成外科領域	1 皮膚・形成外科領域の一次診療	
	2 真菌検査(顕微鏡検査)	
	3 皮膚生検	
	4 凍結療法	
	5 光線療法(紫外線・赤外線・PUVA)	
	6 中等症の熱傷の入院治療	
	7 顔面外傷の治療	
	8 皮膚悪性腫瘍手術	○
	9 皮膚悪性腫瘍化学療法	
	10 良性腫瘍又は母斑その他の切除・縫合手術	
	11 マイクロサージェリーによる遊離組織移植	
	12 唇顎口蓋裂手術	○
	13 アトピー性皮膚炎の治療	

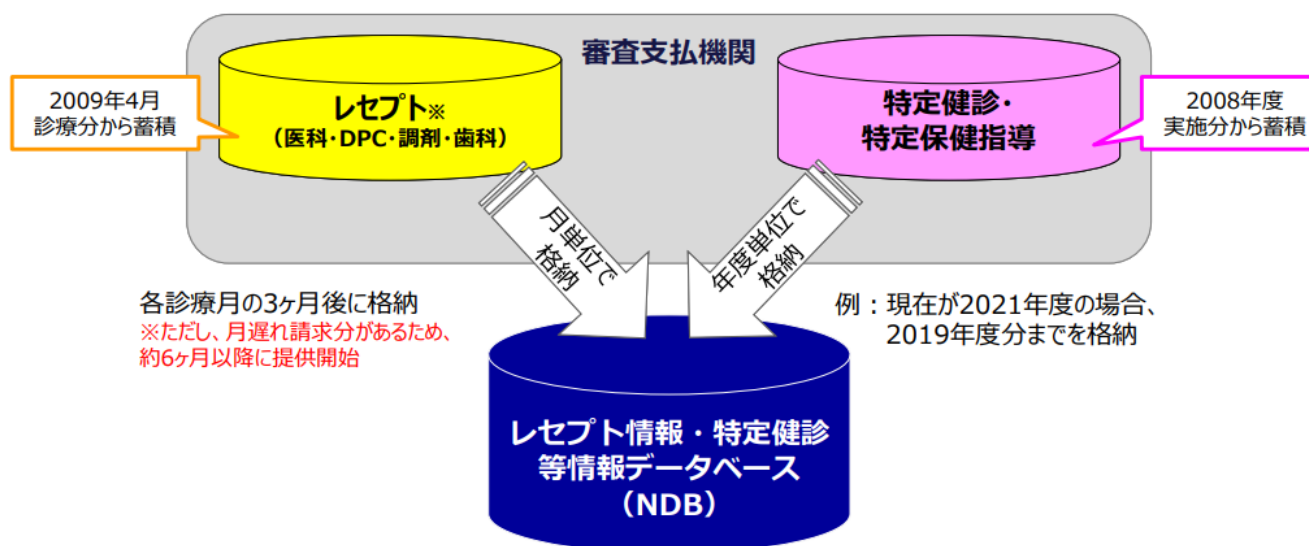
NDBプレプリントデータの定義 (1/2)

- 匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報（NDB；National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan）のデータを用いて集計されています。
- NDBは、厚生労働省が「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、2009（平成21）年より収集しているレセプト情報並びに特定健診・特定保健指導情報を集約したデータベースです。
- NDBは、医療機関等が請求したレセプトが、審査支払機関を経て、国のデータベースシステムに格納されることで構築されます。

I NDBに含まれる情報について

1. NDBに含まれる情報

レセプト情報・特定健診等情報データベースには、匿名レセプト情報と匿名特定健診等情報が格納されています。



※レセプト（正式名称「診療（調剤）報酬明細書」）とは、
医療機関等が患者負担額以外の負担分（保険者負担分、公費負担者分、高額療養費（現物高額）等）を保険者等に請求する「請求書（診療（調剤）報酬の明細）」です。

NDBプレプリントデータの定義 (2/2)

- 医療機能情報提供制度においてご提示するNDBプレプリントデータは、NDBから抽出されたデータを受領した後、厚生労働省（工程管理事業）側で集計処理を実施したデータとなります。報告の際には、参考値としてご確認ください。
- 令和5年度（2023年度）の医療機能情報提供制度では、令和4年度（2022年度）診療分データを使用しました。
- 集計値は、医科入院・医科入院外・DPCレセプトを対象とした「レセプト件数」（※）の前年度4月～3月の年間合計値です。集計条件に使用する具体的なレセプト電算コードは、別添「プレプリント対象項目」をご覧ください。
※ 歯科レセプト、調剤レセプトは対象としておりません。
※ リハビリテーションに関する項目は、「実人数」を集計しています。

● NDBプレプリントデータの集計方法イメージ

項目	対象コード (例)	対象診療行為(例)	入院レセプト	入院外レセプト	区分	レセプト件数の計算
皮膚悪性腫瘍手術	150004210	皮膚悪性腫瘍切除術(広汎切除)	150004210	150260910	入院レセプト	対象コードを有するレセプトは3件
	150260910	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	150004210 150260910	なし	入院外レセプト	対象コードを有するレセプトは1件
			150260910	なし	合計	入院レセプト3件+入院外レセプト1件=4件
					皮膚悪性腫瘍手術のプレプリント値	4

● NDBプレプリントデータに関する留意点

- 集計処理を通じて、各医療機関の診療実績を計算していますが、医療機関が把握している実績とは、データの性質上、やむを得ず乖離が発生する場合がございます。主な理由は以下の通りです。**数値が乖離する場合は、適切な報告値へ修正をお願いします。**
 - 紙レセプトによる請求は、NDBには含まれておりません。
 - 自動車損害賠償責任保険、労働災害補償保険、全額公費負担医療（医療扶助等）、その他の自由診療での診療の実績（医療保険での診療以外の場合）は、NDBには含まれておりません。
 - 各年度末の翌月請求分データ（4月請求分）までが含まれるため、一部の月遅れ請求分の実績は、プレプリントデータに用いるNDBには含まれておりません。
 - NDBデータは、「医療機関からの請求後、審査支払機関と国のNDBシステムを経て、集計可能となるデータ」であることから、その過程で生じた乖離理由については、医療情報ネット・G-MIS側で特定することが難しい場合がございます。